

無形資産投資・イノベーション・生産性に関する国際ワークショップ

主催：文部科学省科学技術政策研究所（NISTEP）

共催：独立行政法人経済産業研究所（RIETI）・学習院大学「日本の無形資産投資に関する実証研究」プロジェクト（ERII）・一橋大学グローバルCOEプログラム「社会科学の高度統計・実証分析拠点構築」（G-COE Hi-Stat）・RIETI/日本大学「ICT投資、人的資本と市場ダイナミクスの日本のサービス産業生産性への影響分析」（文部科学省科学研究費補助金採択プロジェクト）

日時：2012年1月27日（金）9：30～18：00

場所：文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂

背景・趣旨：

先進諸国において、技術知識集約的な産業の比重が高まり、また少子高齢化により成長維持には生産性上昇が欠かせなくなるにつれて、イノベーションの源泉としての無形資産投資や、マーケットメカニズムによる企業間資源配分の効率化が生産性上昇を生み出す過程（生産性動学）について、多くの国で関心が集まり、研究が急速に進展しようとしています。この分野の研究を進めるには、無形資産投資や生産性に関する産業・企業レベルのデータの整備や国際協調が欠かせません。本ワークショップでは、最新の研究成果を議論し、データ整備に関する連携や国際共同研究を今後更に深化させる方法について検討します。

報告者は主に、無形資産と生産性動学研究を中心テーマに据えているOCEDの「新しい成長の源泉（New Sources of Growth）」プロジェクトの中核的研究者達、これと連携して日本について研究・統計調査実施を担当している科学技術政策研究所を始めとする研究者達、欧州の無形資産推計の専門家、無形資産と生産性動学を日韓で比較するプロジェクトの参加者達です。

午前の部：産業・企業レベルの無形資産投資とその経済効果

午後の部1：成長の新しい源泉：OECD・NISTEPの研究

午後の部2：企業におけるイノベーションと生産性動学：日韓比較

（日英同時通訳付）※詳細は2ページ目をご覧ください。

○入場無料、ただし参加には事前申し込みが必要となります。

○参加申し込み方法：ご所属とお名前をご明記の上、ws2012@nistep.go.jpまでご連絡ください。

申込期限：1月20日（金）午前10時

※なお、会場の都合により先着順にさせていただきます場合があります。

○交通アクセス

場所： 文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂
東京都千代田区霞が関3丁目2番2号

- ・東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅11番出口より徒歩1分
- ・東京メトロ丸ノ内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関」駅A13番出口より徒歩5分

○問い合わせ先

文部科学省科学技術政策研究所第1研究グループ

Tel：03-3581-2396 E-mail：ws2012@nistep.go.jp



プログラム（日英同時通訳付）

9:30 開会（9:00 開場）

9:30-9:40 主催者挨拶 桑原 輝隆（NISTEP 所長）

午前の部：産業・企業レベルの無形資産投資とその経済効果

座長：伊地知 寛博（成城大学・NISTEP）

9:40-10:20 「英国における研究成果」

Peter Goodridge（Imperial College Business School and Ceriba, Office for National Statistics, UK）

<10:20-10:40 休憩>

10:40-11:20 「無形資産投資：成長への寄与とイノベーション政策の課題：フランスとドイツの比較研究」

Ahmed Bounfour（University Paris-Sud, PESOR）

11:20-11:50 「産業レベルの無形資産投資に関する日本・韓国の共同調査の予備的研究成果」

○田 賢培（西江大学）・深尾 京司（一橋大学・NISTEP・RIETI）・

○宮川 努（学習院大学・NISTEP・RIETI）・比佐 章一（横浜市立大学）

（○：主な報告者）

11:50-12:20 「NISTEP における 2012 年度全国イノベーション調査について」

深尾 京司（一橋大学・NISTEP・RIETI）・米谷 悠（NISTEP）

<12:20-13:20 昼休み>

午後の部 1：成長の新しい源泉：OECD・NISTEP の研究

座長：長岡 貞男（一橋大学・RIETI）

13:20-14:20 「OECD/WPIA における取り組みについて」

Chiara Criscuolo（OECD）・Mariagrazia Squicciarini（OECD）

14:20-15:20 「NISTEP における『科学技術イノベーション政策のための科学』プロジェクトの予備的研究成果」

深尾 京司（一橋大学・NISTEP・RIETI）・○Rene Belderbos（Catholic University, Leuven・NISTEP）・

権 赫旭（日本大学・NISTEP・RIETI）・金 榮慤（専修大学・NISTEP）・○池内 健太（NISTEP）

（○：主な報告者）

<15:20-15:40 休憩>

午後の部 2：企業におけるイノベーションと生産性動学：日韓比較

座長：岡室 博之（一橋大学・NISTEP）

15:40-16:40 「日本企業・韓国企業におけるマネジメント・プラクティスと企業のパフォーマンス」

○宮川 努（学習院大学・NISTEP・RIETI）・○李 根（ソウル大学）・

鄭 鎬成（三星経済研究所）・嚴 東郁（三星経済研究所）

（○：主な報告者）

16:40-17:20 「生産性動学に関する日韓共同研究の予備的研究成果」

安 相勳（韓国開発研究院）・権 赫旭（日本大学・NISTEP・RIETI）

17:20-18:00 円卓会議「無形資産投資とイノベーション研究に関する今後の連携について」

18:00 閉会